

政令市初 官民一体 腎臓病検診！！

北九州市慢性腎臓病予防連携システム

一般的に、慢性疾患患者の増加が、医療費高騰の主な原因と言われ、中でも慢性腎臓病は重症化すると高額な人工透析が必要になります。

北九州市国保の人工透析の件数は、平成 11 年度(18,332 件)から平成 19 年度(28,248 件)の 8 年間で約 1.5 倍に増加し、平成 20 年度における人工透析に要した本市国保の医療費は約 46 億 7 千万円、全体の約 5%をしめています。

北九州市は、慢性腎臓病の重症化予防と医療費の適正化を目的に、北九州市医師会と協力して「慢性腎臓病予防連携システム」を構築しました。かかりつけ医を核とし、特定健診から保健指導、専門医療までを一体的につなぐ「慢性腎臓病予防連携システム」は、政令市初の全国に先駆けた取り組みです。

検尿異常は、再検査

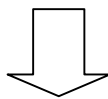
再検査異常は、腎臓専門医へ

北九州慢性腎臓病予防対策

北九州国民健康保険特定健診受診



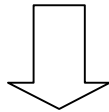
検査結果異常
eGFR 60mL/min/1.73m²
尿蛋白 1 +、尿潜血 2 +



特定健診の検査結果を直接当院に
お持ちになり受診できます

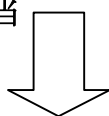
一次医療機関（かかりつけ医）

- ・検尿検査 2 回以上
- ・採血検査
- ・問診・診察



- * 蛋白尿が 0.5g/g クレアチニン以上もしくは 2+以上
- * eGFR が 50mL/min/1.73 m²未満
(70 歳以上は eGFR40mL/min/1.73 m²未満)
- * 蛋白尿と血尿がともに陽性 (1+以上)

いずれかに該当 専門医紹介



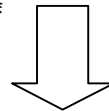
二次医療機関受診（腎臓専門
医）

門司港腎クリニック

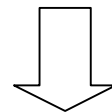
一次医療機関（腎臓専門医）

門司港腎クリニック

- ・検尿検査 2 回以上（早朝尿含む）
- ・採血検査（腎機能と腎臓悪化因子）
- ・問診・診察



- * 蛋白尿が 0.5g/g クレアチニン以上もしくは
2+以上
- * eGFR が 50mL/min/1.73 m²未満
(70 歳以上は eGFR40mL/min/1.73 m²未満)
- * 蛋白尿と血尿がともに陽性 (1+以上)



精密検査・継続治療
祝日・夜間外来あり

北九州市慢性腎臓病予防連携システムとは、検診で検尿異常を指摘された方

にかかりつけ医受診を勧め、腎臓病が疑われる方には腎臓病専門医を紹介する

システムです。自覚症状の出る前の早期診断をお勧めします。